



# 希望に満ちて

## さいたま市立大門小学校

心豊かで たくましい  
大門小児童の育成  
<夢と目標をもち、  
生き生きと活動する子ども>



## 節 分

校長 宮本 江津子

6年生の教室から、「6年生送る会」で演奏する（最後の授業参観でも演奏するそうです）合奏曲を練習している、鍵盤ハーモニカやリコーダーの音色が聴こえます。音楽が聴こえてくると、ついついその音色のする方へ行ってしまいます。そして、合奏の練習に加わってしまいます。音楽の授業でも、子どもたちの演奏は、1時間毎にどんどん上手になっています。朝の時間にも、歌の練習をする声が聴こえてくると、ついついその歌声のする方へ行ってしまいます。そして、一緒に歌い出します。本当に音楽が大好きで、『子どもたちと一緒に大好きな歌を歌いたい！私の大好きな音楽を、子どもたちに伝えたい！』という思いで、音楽の先生になったことを思い出します。

子どもたちが卒業に向けて、一生懸命取り組む姿が見られる頃になりました。卒業まで残りあと34日・・・達成感や成就感が味わえるよう、日々大切に過ごしていきます。悔いのない小学校生活を終えることができるようになります。

さて、今年の立春は2月4日。春の始まる前の日、つまり、冬と春を分ける日という意味で、2月3日が『節分（季節を分ける日）』となっています。節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味を込めて悪いものを追い出す日。「鬼は外、福は内」と言いながら、豆まきをします。実は、もともと鬼の姿は決まっておらず、見えない悪いものを鬼と呼んでいたそうです。そして、悪いもの（鬼）を追いはらい、良いもの（福）を呼び込むために、豆まきをするようになりました。

今月の校長講話では、節分にちなんで、「心の中の鬼」の話をしました。

節分は、みんなが健康で幸せに過ごせますように・・・という願いを込めて  
悪いものを追い出し、良いものを呼び込むために、豆まきをします。  
悪いものを鬼に例えて、鬼に豆をぶつけて退治したのです。  
鬼は、どこにいると思いますか？  
鬼は、どこにでもいます。  
みんなの心の中にも、いるかもしれません。  
おこりんぼう鬼、泣き虫鬼、 やだやだ！やりたくない鬼、ちらかし鬼、  
ゲームしたい鬼  
みんなの心の中にいる鬼も、追い出してしまいましょう。

まもなく冬のオリンピック、ミラノ・コルティナ大会が始まります。「猪谷千春さん」は、70年前のコルティナで行われたオリンピックで、日本人で初めてメダルを獲得した人です。（アルペンスキーの回転競技で銀メダルを獲得）

子どもたちも、自分の弱い心と向き合って、チャレンジし、それぞれの夢に向かって羽ばたけ・・・と願っています。

そして、日本の選手のみなさんも、今までの努力と成果を存分に発揮できますように・・・